

四半期報告書

(第37期第3四半期)

自 平成20年11月1日

至 平成21年1月31日

株式会社ロック・フィールド

神戸市東灘区魚崎浜町15番地2

(E00482)

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況	3
2 経営上の重要な契約等	5
3 財政状態及び経営成績の分析	5

第3 設備の状況

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	7
(2) 新株予約権等の状況	7
(3) ライツプランの内容	7
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	7
(5) 大株主の状況	7
(6) 議決権の状況	8

2 株価の推移

3 役員の状況

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	10
(2) 四半期連結損益計算書	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14

2 その他

第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年3月17日
【四半期会計期間】	第37期第3四半期（自平成20年11月1日至平成21年1月31日）
【会社名】	株式会社ロック・フィールド
【英訳名】	ROCK FIELD CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岩田 弘三
【本店の所在の場所】	神戸市東灘区魚崎浜町15番地2
【電話番号】	（代表）（078）435-2800
【事務連絡者氏名】	経理グループマネージャー 伊澤 修
【最寄りの連絡場所】	神戸市東灘区魚崎浜町15番地2
【電話番号】	（代表）（078）435-2800
【事務連絡者氏名】	経理グループマネージャー 伊澤 修
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜1丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第3四半期連結 累計期間	第37期 第3四半期連結 会計期間	第36期
会計期間	自平成20年5月1日 至平成21年1月31日	自平成20年11月1日 至平成21年1月31日	自平成19年5月1日 至平成20年4月30日
売上高（百万円）	36,124	12,553	47,171
経常利益（百万円）	1,509	710	2,543
四半期（当期）純利益（百万円）	789	385	1,322
純資産額（百万円）	—	20,233	20,077
総資産額（百万円）	—	25,133	25,838
1株当たり純資産額（円）	—	1,523.46	1,511.65
1株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	59.42	29.01	99.59
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（%）	—	80.5	77.7
営業活動による キャッシュ・フロー（百万円）	1,144	—	3,156
投資活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△1,727	—	△987
財務活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△876	—	△1,264
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高（百万円）	—	4,591	6,058
従業員数（人）	—	1,295	1,351

（注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等を含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額は、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び連結子会社2社）が営んでいる事業内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年1月31日現在

従業員数（人）	1,295（2,923）
---------	--------------

（注） 従業員数は就業人数であり、臨時雇用者数（パートタイマー、アルバイト）は当第3四半期連結会計期間の平均雇用人員（8時間換算）を（ ）内に外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年1月31日現在

従業員数（人）	1,290（2,904）
---------	--------------

（注） 従業員数は就業人数であり、臨時雇用者数（パートタイマー、アルバイト）は当第3四半期会計期間の平均雇用人員（8時間換算）を（ ）内に外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間の生産実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

なお、同一製品が複数業態で販売されるため、業態別の生産実績は記載しておりません。

製品別	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)
	金額(百万円)
サラダ	5,475
神戸コロッケ	1,162
フライ	2,393
デイリーそうざい	2,600
路面店そうざい	534
ベジテリア	598
その他	33
合計	12,798

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当社グループでは見込み生産を行っておりますので該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績を事業の業態別に示すと、次のとおりであります。

業態別		当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)
		金額(百万円)
RF1	サラダ	5,264
	フライ	1,889
	その他そうざい	2,342
	小計	9,496
神戸コロッケ		1,099
いとはん・三日坊主		452
RF1 Asia・融合		292
そうざいや 地球健康家族	そうざい	446
	弁当・米飯	180
	小計	626
ベジテリア		466
DELICARf-1		33
その他		86
合計		12,553

(注) 1. 当第3四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)	
	金額(百万円)	割合(%)
(株)高島屋	1,473	11.73

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間（平成20年11月1日から平成21年1月31日まで）におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱、株式市場の大幅な変動、企業収益の悪化や設備投資の縮小など、景気の急速な後退が見られました。

食品業界におきましても、景気の先行き不透明感、雇用情勢の悪化などにより、消費者の消費行動も慎重になっており、経営環境は一段と厳しいものとなってきております。

このような状況下、当社グループは第6次中期経営計画のもと、お客様のニーズに対応した付加価値の高い商品、サービスの提供に努めてまいりました。また、全社をあげて業務の効率化、コスト低減の取組みなどを行った結果、売上高は12,553百万円、営業利益は709百万円、第3四半期純利益は385百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産については、静岡ファクトリー第三棟建設の影響や税金・賞与等支払による現金及び預金の減少により、前連結会計年度末に比べて704百万円減少し25,133百万円となりました。

一方、負債においては、前連結会計年度末に比べて長期借入金（1年内返済予定長期借入金を含む）の約定返済により325百万円減少したこと、未払法人税等が390百万円減少したことにより負債合計は4,899百万円となりました。

純資産においては、前連結会計年度末に比べて156百万円増加し20,233百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて2.8ポイント増加して80.5%、1株当たり純資産は1,523円46銭となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第2四半期連結会計期間末に比べて256百万円減少し、4,591百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得た資金は361百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益697百万円、賞与引当金の減少額157百万円、売上債権の減少額371百万円、法人税等の支払額279百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は413百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出256百万円、投資有価証券の取得による支出100百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は199百万円となりました。これは、主に長期借入金の新規借入200百万円、長期借入金の約定返済150百万円、配当金の支払額239百万円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間における当社グループの研究開発活動の金額は44百万円であります。なお、当第3四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

①重要な設備の完了

前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、拡充のうち、当第3四半期連結会計期間に完了したものは次のとおりであります。

会社名	事業所名	設備の内容	投資金額（百万円）	完了年月
提出会社	営業店舗	新規出店	39	平成21年1月
	神戸ファクトリー	生産設備	118	平成21年1月
	静岡ファクトリー	生産設備	61	平成21年1月

(注) 金額には消費税等は含まれておりません。

②重要な設備の除却

当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の除却計画はありません。

③重要な設備の改修

当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の改修計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成21年1月31日)	提出日現在発行数(株) (平成21年3月17日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,394,374	13,394,374	東京証券取引所 大阪証券取引所 各市場第一部	単元株式数 100株
計	13,394,374	13,394,374	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額(百万 円)	資本準備金残 高(百万円)
平成20年11月1日～ 平成21年1月31日	—	13,394,374	—	5,544	—	5,861

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成20年10月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

①【発行済株式】

平成21年1月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 112,900	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 13,270,200	132,702	—
単元未満株式	普通株式 11,274	—	1単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	13,394,374	—	—
総株主の議決権	—	132,702	—

（注）「完全議決権株式（その他）」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が、2,200株（議決権 22個）含まれております。

②【自己株式等】

平成21年1月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
株式会社 ロック・フィールド	神戸市東灘区魚崎浜 町15番地2	112,900	—	112,900	0.84
計	—	112,900	—	112,900	0.84

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成21年 1月
最高（円）	1,600	1,515	1,459	1,539	1,534	1,355	1,205	1,224	1,209
最低（円）	1,460	1,355	1,324	1,402	1,310	995	1,071	1,115	1,070

（注）最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成20年11月1日から平成21年1月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成20年5月1日から平成21年1月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,811	6,158
売掛金	3,703	3,331
製品	57	54
仕掛品	53	53
原材料及び貯蔵品	164	177
その他	377	544
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,166	10,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,035	8,352
機械装置及び運搬具（純額）	592	477
土地	3,003	3,003
建設仮勘定	777	16
その他（純額）	800	707
有形固定資産合計	* 13,208	* 12,557
無形固定資産	256	304
投資その他の資産		
投資有価証券	377	403
差入保証金	575	581
長期預金	900	1,000
繰延税金資産	147	98
その他	510	581
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	2,502	2,657
固定資産合計	15,966	15,518
資産合計	25,133	25,838

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,029	1,224
1年内返済予定の長期借入金	628	750
未払法人税等	292	682
賞与引当金	288	520
その他	2,044	1,890
流動負債合計	4,283	5,068
固定負債		
長期借入金	489	692
その他	127	—
固定負債合計	616	692
負債合計	4,899	5,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,861	5,861
利益剰余金	9,071	8,813
自己株式	△208	△208
株主資本合計	20,267	20,010
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9	82
為替換算調整勘定	△24	△15
評価・換算差額等合計	△34	66
純資産合計	20,233	20,077
負債純資産合計	25,133	25,838

(2) 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成21年1月31日)
売上高	36,124
売上原価	15,927
売上総利益	20,196
販売費及び一般管理費	※1 18,703
営業利益	1,493
営業外収益	
受取利息	2
受取配当金	5
保険配当金	7
その他	15
営業外収益合計	30
営業外費用	
支払利息	11
その他	3
営業外費用合計	14
経常利益	1,509
特別損失	
固定資産除却損	28
減損損失	12
特別損失合計	40
税金等調整前四半期純利益	1,469
法人税等	※2 679
四半期純利益	789

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)	
売上高	12,553
売上原価	5,498
売上総利益	7,055
販売費及び一般管理費	※1 6,345
営業利益	709
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	2
その他	2
営業外収益合計	4
営業外費用	
支払利息	3
その他	1
営業外費用合計	4
経常利益	710
特別損失	
固定資産除却損	0
減損損失	12
特別損失合計	12
税金等調整前四半期純利益	697
法人税等	※2 311
四半期純利益	385

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年5月1日
 至 平成21年1月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,469
減価償却費	1,078
減損損失	12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△231
受取利息及び受取配当金	△7
支払利息	11
固定資産除却損	28
売上債権の増減額 (△は増加)	△372
たな卸資産の増減額 (△は増加)	10
仕入債務の増減額 (△は減少)	△194
その他	256
小計	2,060
利息及び配当金の受取額	7
利息の支払額	△11
法人税等の支払額	△911
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△20
有形固定資産の取得による支出	△1,465
有形固定資産の売却による収入	20
無形固定資産の取得による支出	△55
投資有価証券の取得による支出	△114
長期前払費用の取得による支出	△100
差入保証金の回収による収入	28
差入保証金の差入による支出	△22
その他	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,727
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	200
長期借入金の返済による支出	△525
リース債務の返済による支出	△20
自己株式の取得による支出	△0
自己株式の売却による収入	0
配当金の支払額	△531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△876
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,467
現金及び現金同等物の期首残高	6,058
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 4,591

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成21年1月31日)
会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更</p> <p>たな卸資産</p> <p>通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。</p> <p>(2) リース取引に関する会計基準の適用</p> <p>所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これによる損益に与える影響はありません。</p> <p>なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。</p>

【簡便な会計処理】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年5月1日
至 平成21年1月31日)

(有形固定資産の耐用年数の変更)

平成20年度の法人税法の改正を契機として固定資産の使用状況等を見直した結果、第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数を9年から10年に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合と比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日)	前連結会計年度末 (平成20年4月30日)
※ 有形固定資産の減価償却累計額は、11,277百万円であります。	※ 有形固定資産の減価償却累計額は、10,572百万円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成21年1月31日)						
<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">支払手数料</td> <td style="text-align: right;">4,652百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">給料及び賞与</td> <td style="text-align: right;">6,674百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賞与引当金繰入</td> <td style="text-align: right;">160百万円</td> </tr> </table> <p>※2. 「法人税、住民税及び事業税」と「法人税等調整額」は「法人税等」として一括して記載しております。</p>	支払手数料	4,652百万円	給料及び賞与	6,674百万円	賞与引当金繰入	160百万円
支払手数料	4,652百万円					
給料及び賞与	6,674百万円					
賞与引当金繰入	160百万円					

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)						
<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">支払手数料</td> <td style="text-align: right;">1,616百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">給料及び賞与</td> <td style="text-align: right;">2,134百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賞与引当金繰入</td> <td style="text-align: right;">160百万円</td> </tr> </table> <p>※2. 「法人税、住民税及び事業税」と「法人税等調整額」は「法人税等」として一括して記載しております。</p>	支払手数料	1,616百万円	給料及び賞与	2,134百万円	賞与引当金繰入	160百万円
支払手数料	1,616百万円					
給料及び賞与	2,134百万円					
賞与引当金繰入	160百万円					

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成21年1月31日)						
<p>※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年1月31日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">4,811百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">預入期間が3か月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">△220百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">4,591百万円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	4,811百万円	預入期間が3か月を超える定期預金	△220百万円	現金及び現金同等物	4,591百万円
現金及び預金勘定	4,811百万円					
預入期間が3か月を超える定期預金	△220百万円					
現金及び現金同等物	4,591百万円					

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成21年1月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年5月1日至平成21年1月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 13,394,374株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 113,001株

3. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年7月29日 定時株主総会	普通株式	292	22	平成20年4月30日	平成20年7月30日	利益剰余金
平成20年12月15日 取締役会	普通株式	239	18	平成20年10月31日	平成21年1月16日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年11月1日至平成21年1月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年5月1日至平成21年1月31日)

当社グループは、同一セグメントに属する各種そうざいの製造・販売事業を行っており、当該セグメント以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年11月1日至平成21年1月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年5月1日至平成21年1月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年11月1日至平成21年1月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年5月1日至平成21年1月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(有価証券関係)

有価証券の当四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

当社は、デリバティブ取引を行っておりませんので該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日)		前連結会計年度末 (平成20年4月30日)	
1株当たり純資産額	1,523.46円	1株当たり純資産額	1,511.65円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成21年1月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	59.42円	1株当たり四半期純利益金額	29.01円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成21年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	789	385
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	789	385
期中平均株式数(千株)	13,281	13,281

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

該当事項はありません。

2【その他】

平成20年12月15日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額……………239百万円

(ロ) 1株当たりの金額……………18円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………平成21年1月16日

(注) 平成20年10月31日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年3月9日

株式会社ロック・フィールド

取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 辻内 章 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 伊東 昌一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ロック・フィールドの平成20年5月1日から平成21年4月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年11月1日から平成21年1月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年5月1日から平成21年1月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ロック・フィールド及び連結子会社の平成21年1月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。